

# 交付運用報告書

## スーパーファンド・ジャパン サブファンド・シャープパリティ

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て）

作成対象期間（第12期）：自 2020年1月1日 至 2020年12月31日

### ～ 受益者の皆様へ ～

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ケイマン諸島における分別ポートフォリオを運用する適用免除有限責任会社として登録され、投資会社としてのみ活動するマスターファンドへの投資を通じて、証券市場の動静から独立した投資形態を投資家の皆様に提供するために設立されました。スーパーファンドの投資顧問会社であるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インクによる、トレーディング・ソフトウェアを使用した最新の取引システムに基づき、マスターファンドは運用されます。

ここに、当サブファンドの第12期の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	第12期末	
	円・クラス	ゴールド円・クラス
1口当たり純資産価額	43.03円	65.21円
純資産総額	67百万円	189百万円
	第12期	
	円・クラス	ゴールド円・クラス
騰落率	+3.29%	+10.51%
1口当たり分配金額	0円	0円

(注1) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、当期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書（全体版）に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注2) 騰落率は、税引前の分配金（もしあれば）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注3) 1口当たり分配金額（もしあれば）は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

### その他記載事項

運用報告書（全体版）は代行協会のウェブサイト（<http://www.superfund.co.jp>）にて電磁的方法により提供しており、「資料ダウンロード」において閲覧及びダウンロードすることができます。

※ 当サブファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【管理会社】

【代行協会員】

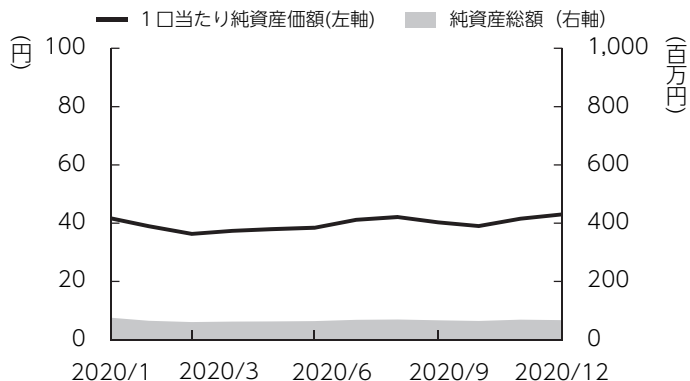
スーパーファンド・ジャパン・  
トレーディング（ケイマン）リミテッド

スーパーファンド・ジャパン株式会社

# 運用経過

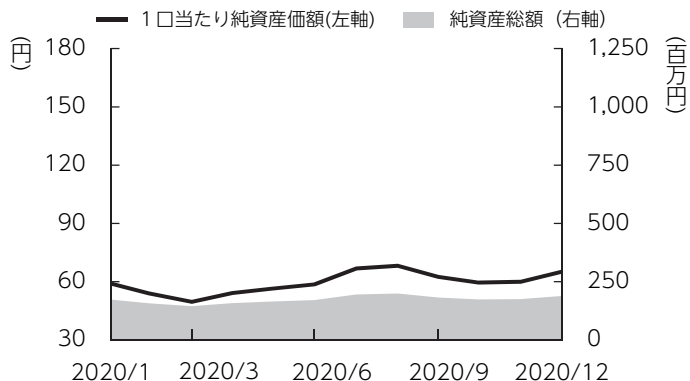
## ■ 当期の1口当たり純資産価額等の推移について (2020年1月1日～2020年12月31日)

### 円・クラス



第11期末の 1口当たり純資産価額	41.66円
第12期末の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	43.03円
騰落率	+3.29%

### ゴールド円・クラス



第11期末の 1口当たり純資産価額	59.01円
第12期末の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	65.21円
騰落率	+10.51%

(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 1口当たり純資産価額は、第11期末の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

## ■ 1 口当たり純資産価額の主な変動要因

### 【円・クラス】

シャープパリティ戦略では、リスク・リターンレシオが最大となる市場セグメントをポートフォリオ内で重くウェイト付けします。

スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより、株式、債券、商品市場等を投資対象として、ロングポジションのみでバランス投資を行い運用されます。よって、それら各市場の価格変動は、ファンドの純資産価額の変動に影響します。

### 【ゴールド円・クラス】

シャープパリティ戦略では、リスク・リターンレシオが最大となる市場セグメントをポートフォリオ内で重くウェイト付けします。

スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより、株式、債券、商品市場等を投資対象として、ロングポジションのみでバランス投資を行い運用されます。よって、それら各市場の価格変動は、ファンドの純資産価額の変動に影響します。加えて、金価格に連動するようヘッジを行うため、金価格の上昇はキャピタルゲインの、金価格の下落はキャピタルロスの要因となります。

## ■ 費用の明細 (2020年1月1日～2020年12月31日)

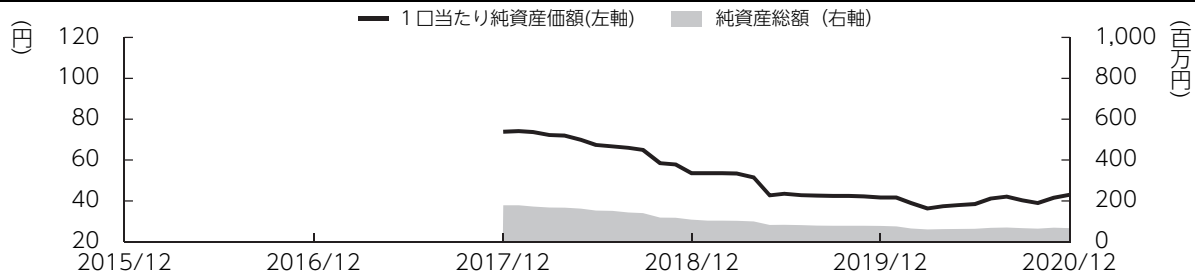
項目		比率又は金額	項目の概要
管	理 報 酬	当サブファンドの純資産価額の年率0.10%	受託会社、事務管理会社及びカस्टディアンその他の者との間のやりとり、当サブファンドの活動に関連する契約の管理、申込み及び償還を含む投資活動の運用管理の対価
代	行 協 会 員 報 酬	当サブファンドの純資産価額の年率0.10%	日本の法令及び日本証券業協会の規則に従い、受益者への目論見書や財務書類を送付し、純資産価額を公表する等の業務に対する報酬
受	託 会 社 報 酬	当サブファンドにつき年間8,500米ドル	信託証書に従って行う当サブファンドの受託業務に対する報酬
事	務	当サブファンドの事務管理及び振替代行報酬	各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込みに係る契約及び申込みの受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価
	管	当サブファンドにつき年間9,793米ドル	
	理	当サブファンドにつき年間400米ドル	
主	たる事務所の提供報酬	「スーパーファンド・ジャパン」につき年間6,000米ドル	当サブファンドの主たる事務所を提供することの対価。事務管理会社の関連会社に支払われる。
販	売 会 社 報 酬	当サブファンドにつき純資産価額の年率0.6%	販売の手配を行うことへの対価
その他の費用（当期）		1.21%	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額を当サブファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) 各項目の費用は、サブファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

## ■ 最近5年間の1口当たり純資産価額等の推移について (2015年12月31日～2020年12月31日)

### 円・クラス



	サブファンド設定時 2018年1月1日	第10期末 2018年12月31日	第11期末 2019年12月31日	第12期末 2020年12月31日
1口当たり純資産価額(円)	73.84	53.57	41.66	43.03
1口当たり分配金額(円)	-	0	0	0
騰落率(%)	-	△27.45	△22.23	+3.29
純資産総額(百万円)	178	108	77	67

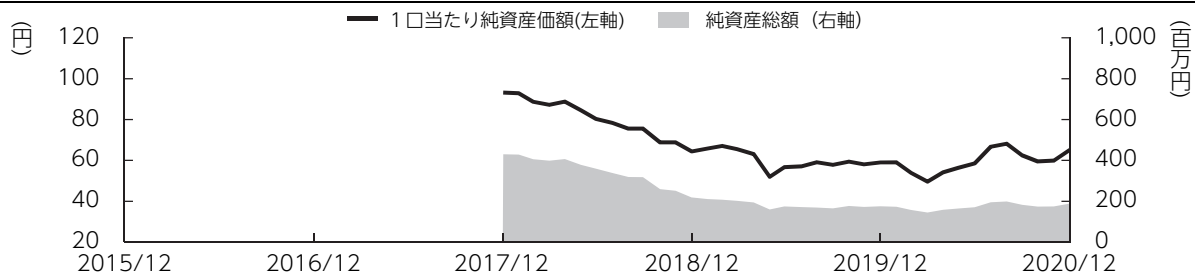
(注1) 1口当たり純資産価額は、設定時の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 当サブファンドは2018年1月より運用が開始されたため、2017年12月以前の情報がありません。

### ゴールド円・クラス



	サブファンド設定時 2018年1月1日	第10期末 2018年12月31日	第11期末 2019年12月31日	第12期末 2020年12月31日
1口当たり純資産価額(円)	93.18	64.43	59.01	65.21
1口当たり分配金額(円)	-	0	0	0
騰落率(%)	-	△30.85	△8.41	+10.51
純資産総額(百万円)	430	218	175	189

(注1) 1口当たり純資産価額は、設定時の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 当サブファンドは2018年1月より運用が開始されたため、2017年12月以前の情報がありません。

## ■ 投資環境について

2020年は、急速に拡散する新型コロナウイルスの出現によって、現代史上最も激動した年の1つとなりました。このCOVID-19ウイルスは、それまでに知られていたどの呼吸器系ウイルスよりも感染力と致死率が高く、2020年3月には感染拡大を抑えるために企業や集會が閉鎖されました。世界の主要な株価指数や原油価格が暴落し、世界のGDPは大きく低下、そして何百万人もの人々が仕事にあぶれました。しかしながら2020年は、人々、組織、及び金融市場の根強い回復力を証明するものとなりました。政府や中央銀行が個人や企業に必要な金融支援を行ったことで、経済の回復を待たず金融市場が先行する形でリバウンドしました。年末には、このウイルスに対抗する適切なワクチンが開発され、希望する国民全員にいきわたるよう接種計画が立てられました。

株式市場は一旦は弱気相場に入ったものの、各国の中央銀行が市場を安定させるために迅速かつ広範な行動をとったことで、急速に回復しました。米国の株価指数は、S&P500指数が年間約15%のリターン、NASDAQコンポジット指数は40%を超える驚異的なリターンを記録して、1年を終えました。欧州の株価も回復しましたが、その結果はまちまちで、英国はブレグジットとパンデミックのワンツーパーチを受け、FTSE100指数は13%下落しました。アジア市場は、中国が他の先進国よりも早いペースで正常な状態に戻ることができたため、強い上昇を示しました。

メディアでは株式市場の乱高下に注目が集まっていますが、債券市場も2008年の大不況以来のボラティリティーの高まりを経験しました。米国では、ソブリン債の安全性と分散投資を求める投資家が国債価格を上昇させ、利回りは歴史的な低水準に達しました。FRBは景気減速を防ぐため、3月初旬に連邦資金金利を1.50%から1.25%に引き下げ、さらに3月中旬にはゼロ金利に近い水準まで引き下げました。一方、欧州では、ECB（欧州中央銀行）が景気回復のために国債を異例の速さで購入したことで、債券市場は活発な動きを見せました。米国の長期国債である30年物国債は10%と米国債の中で最も高いパフォーマンスを示し、欧州ではドイツ連邦債が3%強と欧州債の中で最も高いパフォーマンスを示しました。

2020年は、ほとんどのコモディティにとって強気の時期となりました。というのも、需要の混乱は、各商品が運輸・旅行部門にどのように関わっているかによって大きく左右されたからです。原油の需要が減少したことに加え、市場では大量の供給過剰が発生し、約18年ぶりの安値を記録しました。その後の供給削減により、一時的に上昇しましたが、遅すぎました。アルミは中国の自動車市場の急成長により、銅は電力網や再生可能エネルギーへの投資拡大により、それぞれ上昇しました。金は8月に1オンス2,070ドルの史上最高値を記録しました。銀は、投資家がより大きなアップサイドを持つ信頼できる投資先を求めたため、年末には45%以上の高いパフォーマンスを記録しました。農産物市場では、パンデミックによる供給懸念や貿易戦争の継続、ドル安などを受けて上昇しました。

## ■ ポートフォリオについて

< 当サブファンド >

当サブファンドは、マスターファンドへの投資によって当該マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。結果、マスターファンドへの投資比率は、概ね95%以上を維持しました。

< マスターファンド >

マスターファンドは、世界株式、世界債券、コモディティ、為替、キャッシュの主要な投資資産に分散投資するバランスファンドです。マーケット環境により各セクターへの投資比率を機動的にリバランスします。また、キャッシュ比率の引き上げも機動的に行うことで、弱気相場や金融危機時にリスクオフをはかります。

戦略変更により2020年よりシャープパリティ戦略となりました。機動的なリバランスを行うバランスファンドです。3月のコロナショック時には、年初来で約15%のマイナスまでファンドは棄損しましたが、7月には年初の水準まで戻すことができました。機動的なリバランスにより、極力棄損を抑え、上昇時に着実にその恩恵を受けることができました。秋口までは一進一退となりましたが、年末に向け上昇し、プラスの水準で1年を終えることとなりました。

## ■ ベンチマークとの差異について

当サブファンドにはベンチマーク及び参考指数はありません。

## ■ 分配金について

当サブファンドには分配金はありません。

# 今後の運用方針

2021年7月1日付で、当サブファンドの名称はサブファンド「シャープパリティ」から、サブファンド「システムティック・オールウェザー」へと変更されます。運用戦略は変わらずシャープパリティ戦略を採用し、今後の運用方針についても、これまでの投資方針が引き続き採用され、マスターファンドと同一の投資目的を追求する予定です。

## お知らせ

特にありません。

## 当サブファンドの概要

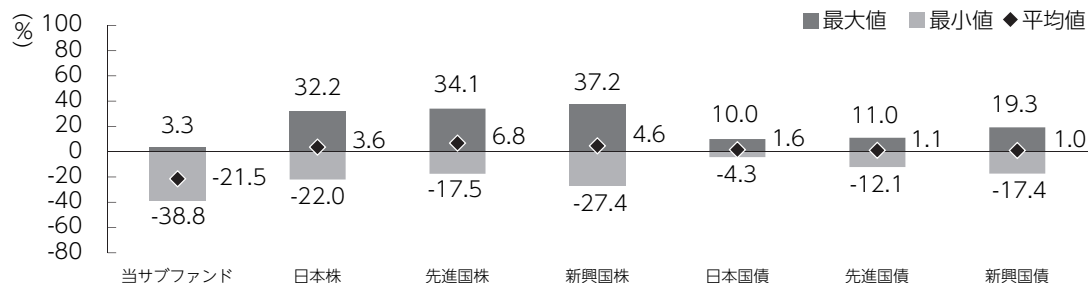
ファンド形態	ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て）	
信託期間	信託設定日は2009年6月5日、償還日は設定日から150年後	
運用方針	マスターファンドの投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルに基づいて運用されます。当サブファンドのマスターファンドは、投資機会及び最新の取引戦略を利用することを目的とするため、将来の投資の特性に関して事前決定された展望を持たず、一切の制限も受けません。マスターファンド投資顧問会社は、サブファンドが、上場先物取引及び各種店頭デリバティブ（外国為替取引を含みます。）において過度の危険を冒さずにレバレッジ効果により高い収益が見込めると判断したときに、レバレッジを利用することができます。	
主要投資対象	当サブファンド	スーパーファンドSPCのサブファンドである分別ポートフォリオ・シャープパリティの利益参加シェア
	マスターファンド	株式、債券、商品市場へのバランス投資、これに加えて、ゴールドクラスは金先物
分配方針	現段階では分配を行う予定はありません。但し、管理会社はその裁量で分配を決定する権利を留保しています。	



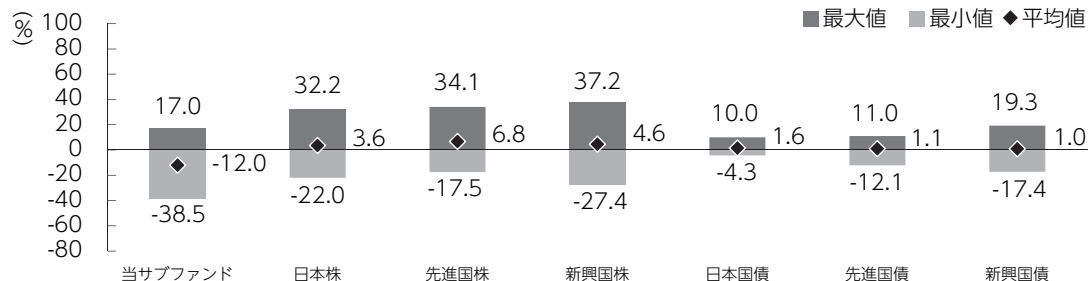
## (参考情報)

# ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

## 円・クラス



## ゴールド円・クラス



※ 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ 2016年1月から2020年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### ○各資産クラスの指数

日本株 …… 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 …… MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株 …… MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債 …… JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債 …… JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債 …… JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

注記・備考

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

# ファンドデータ

## ■ 当サブファンドの組入資産の内容 (2020年12月31日現在)

【組入ファンド】 (組入銘柄数：1 銘柄)

資産の種類	組入比率
スーパーファンドSPCの株式 (分別ポートフォリオ・シャープパリティ・クラスB ジャパンの利益参加シェア) (以下「SPCシャープパリティの株式」と表記)	97.30%
現金、受取債権及びその他の資産	2.70%

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。



(注1) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

(注2) 組入資産の内容は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

## ■ 純資産等 (2020年12月31日現在)

項目	第12期末
純資産総額	255,997,943円
発行済口数	4,454,172口
1口当たり純資産価額	57.47円

(注1) 純資産総額及び発行済口数は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

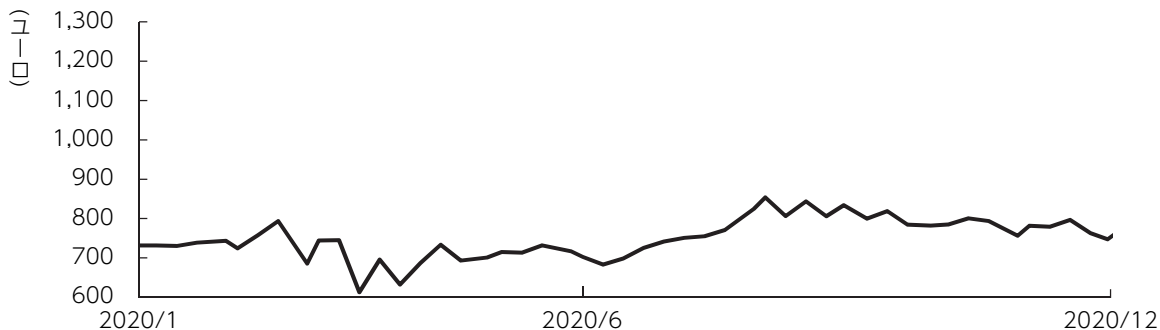
(注2) 当期中における追加発行元本額は200,000円、償還日における償還額は17,056,942円です。

## ■ 投資先ファンドの概要 (2020年1月1日～2020年12月31日)

### ■ スーパーファンドSPC (マスターファンド)

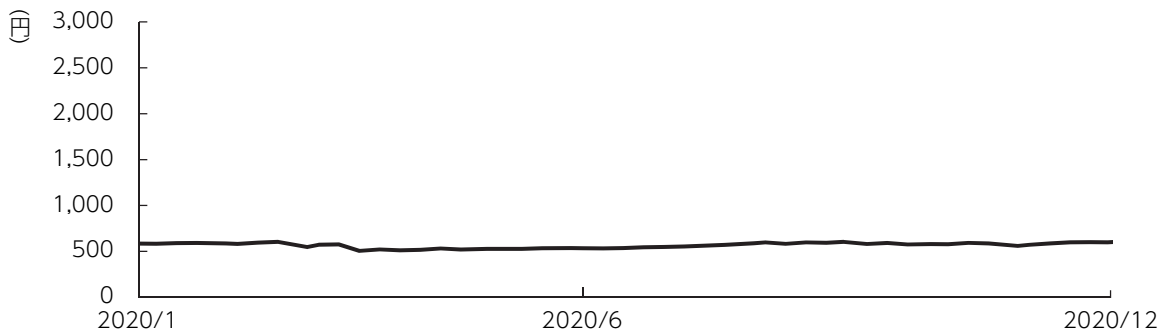
スーパーファンドSPC分別ポートフォリオ・シャープパリティ クラスBジャパン (ゴールド・ユーロ)

#### 【1口当たり純資産価額の推移】



スーパーファンドSPC分別ポートフォリオ・シャープパリティ クラスBジャパン (円)

#### 【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】 (2020年1月1日～2020年12月31日)

項目	項目の概要	
管理報酬	クラスBジャパン (円) 利益参加シェア及びクラスBジャパン (ゴールド・ユーロ) 利益参加シェアの各純資産価値の年率1.0%	
成功報酬	クラスBジャパン (円) 利益参加シェア及びクラスBジャパン (ゴールド・ユーロ) 利益参加シェアの各純資産価値の増加額のうち毎月20% (金価格の上昇のみに起因する価値増加を排除したハイウォーターマーク方式を適用)	
販売会社報酬	シャープパリティにおいては課されない	
事務管理報酬	最低事務管理報酬	年間14,400米ドル
	年次報告書及び監査手配報酬	年間400米ドル
	主たる事務所の提供報酬	年間1,400米ドル (事務管理会社の関連会社に支払われる)
	登録事務所の提供報酬	年間6,000米ドル (事務管理会社の関連会社に支払われる)
その他の費用(当期)	監査報酬、保管費用、その他信託事務の処理に関する諸費用 1.99%	

(注) 各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、【資産別配分】、【国別配分】及び【通貨別配分】については、マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2020年12月31日現在)